

## 長岡京市民憲章

(昭和52年11月3日)

長岡京市の古い歴史と伝統は心にうるおいを与え、西山の豊かな緑は明日への英気を養ってくれます。

この恵まれた歴史と自然を生かし、みんなが力を合わせて生きがいのあるまちをつくるために、この憲章を定めます。

わたくしたち長岡京市民は、

- 1 緑と水を大切に、健康で美しい環境のまちをつくりましょう。
- 1 明るい笑顔と助け合う心を大切に、住みよいまちをつくりましょう。
- 1 学ぶ心と歴史遺産を大切に、文化の豊かなまちをつくりましょう。
- 1 働く喜びと家庭のうるおいを大切に、産業とくらしの調和のとれたまちをつくりましょう。
- 1 平和と人権を大切に、心のふれあうまちをつくりましょう。



市制施行40周年記念

## 長岡京市 市勢要覧

2012(平成24)年10月発行

発行：長岡京市

〒617-8501 京都府長岡京市開田一丁目1-1

電話：075-951-2121 ファクス：075-951-5410

<http://www.city.nagaokakyo.kyoto.jp/>

## 長岡京市の宣言

### 長岡京市「市木」「市花」の宣言

(昭和47年10月1日)

長岡京市は平和を愛し、美しいまちづくりをすることを念願し、市を象徴するにふさわしい木として「もみじ」、花として「霧島つつじ」を決定することを議会の賛同のもとにここに公文をもつて宣言する。

### 交通安全都市宣言

(昭和53年3月6日)

交通事故をなくすことは、全人類の長年の願いである。

交通事故による人命の損傷はあとをたたく、毎年多くの犠牲者を出している。

このため、歩行者、運転者ともども交通ルールの厳守を誓い、市民の総力をあげ交通の安全につとめ、明るく住みよい生活環境の向上をめざし、ここに長岡京市を「交通安全都市」とすることを宣言する。

### 長岡京市健康文化都市宣言

(平成10年10月25日)

この街が好き  
さわやかな風  
陽が街にそよぐ  
四季の楽しさ  
人みなゆつたり生きる  
健康を願うところ  
夢、希望、思いやり  
豊かな歴史と文化に香る  
やさしいふるさと長岡京  
いつまでも暮らしたい  
この街が好き

### いのち輝く長岡京市平和都市宣言

(平成12年12月18日)

こころ豊かで、ゆとりのある平和な暮らしは、私たちの願いです。

人類はいま、冷戦の時代から平和と共生の時代へと踏み出したこの歩みを、さらに確かなものとするために、私たちは薄れつつある戦争の記憶を常に新たにし、その悲惨と災禍の歴史から、平和の尊さをくみとっていかねばなりません。

「歴史を教訓に平和への決意を新たにする決議」を踏まえ、生きとし生けるものが調和し、共生しあって、かけがえのない地球の環境が守られ、人権が尊重され、いのち輝いてこそわが国は真の恒久平和を築くことができます。

新たな21世紀を迎えるにあたり、私たち長岡京市民は、それぞれの立場から貢献することを誓い、ここに「いのち輝く平和都市」を宣言します。

### 長岡京市子どもを

#### すこやかに育むまち宣言

(平成18年12月15日)

子どもはみんな、私たちの宝です。明るい未来への希望です。

しかし、少子化や核家族化を背景に、家庭基盤の弱体化、地域コミュニティーの希薄化が進み、子どもに対する犯罪や虐待、いじめが多発して、尊い生命が無残に奪われるなど、大変憂慮される事態にあります。

次代を担う子どものかけがえのない生命を守り、すこやかに育てることは、私たち大人の責務です。

私たち長岡京市民は、子どもが西山の緑にいだかれてすこやかに育つことを願い、家庭・地域・学校・行政が緊密なネットワークを形成して子どもの安全を守り、まちぐるみで子育てを進めることを誓って、ここに「子どもをすこやかに育むまち」を宣言します。

### “環境の都”長岡京市

#### 環境都市宣言

(平成21年4月1日)

西山の自然に抱かれ、悠久の歴史が刻まれた長岡京市。

緑と水に恵まれ、多くの命が育まれてきました。しかし、私たちが自然への畏敬と感謝を忘れ、物質的な豊かさを求め続けた結果、温暖化をはじめ、地球規模で様々な環境の悪化が進んでいます。

人類は、自然の一部であり、自然との共生によってのみ存続が可能です。

これを踏まえ、私たち長岡京市民は、自然と共生する持続可能な社会を目指し、世代を超えた市民と企業や諸団体そして行政等との協働により、生活様式や、社会のあり方そのものを見直します。

未来の子どもたちが心の安らぎと豊かさを得られる“環境の都”長岡京の実現が、今の私たちに課せられた責務です。

私たち長岡京市民は、先人の歴史と叡智に学び、あらゆる人々と手を携え、真に環境都市として誇れるまちづくりに取り組む決意をここに宣言します。

## 長岡京市の歴史

- 518年 継体天皇が弟国宮に遷る
- 784年 桓武天皇が長岡京に遷都
- 1578年 細川忠興と明智光秀の娘・玉との婚礼が勝龍寺城で行われる
- 1889年 旧14カ村が合併し、新神足村、海印寺村、乙訓村の3カ村となる
- 1928年 新京阪鉄道京都西院～天神橋間が開通。長岡天神駅開設
- 1931年 国鉄神足駅開設
- 1945年 太平洋戦争末期に空襲を受け、新神足村の工場で1人が死亡
- 1949年 新神足村、海印寺村、乙訓村の旧3カ村が合併し、長岡町となる
- 1954年 故中山修一さんらにより長岡京跡の発掘調査を開始
- 1955年 長岡中学校が創立
- 1961年 役場庁舎が現在の場所に新築移転
- 1963年 町営上水道第1期工事が完了し、一部の地域で給水が開始される
- 1964年 乙訓環境衛生組合設立
- 1970年 人口が5万人を突破(第11回国勢調査)
- 1972年 市制施行により長岡京市に
- 1974年 乙訓ポニーの学校事務組合(のちの乙訓福祉施設事務組合)設立
- 1984年 長岡京遷都1200年記念事業を乙訓二市一町で開催
- 1988年 第43回国民体育大会京都大会のバドミントン競技会場に
- 1992年 第1回長岡京ガラシャ祭を開催
- 1995年 JR神足駅が長岡京駅に改称
- 2001年 乙訓消防組合発足
- 2005年 JR長岡京駅の西口再開発事業が完成
- 2011年 人口が8万人を突破
- 2012年 西山天王山駅(阪急京都本線)の駅名決定